

今月のコラム

Hampton Court Palace Flower Show見聞記



M3LABO 代表・首席研究員 村松 誠



8-13 July 2014 London 郊外 Hampton Court Palace にて今年も恒例のエリザベス女王を総裁とする RHS (王立園芸協会) 主催の園芸の祭典が開催。この催事は 101 年目を迎えた RHS Chelsea Flower Show と双璧の規模と権威も世界一流の催事。Chelsea Flower Show は最先端のガーデン設計の世界へのお披露目の場という意味合いが濃く 100 周年を経て新時代の 101 年目の催事でしたが、同様にここも次世代を反映している。昨年は自分のレポートに記しましたが、世界規模の蜜蜂の死亡事件もあって大きなドーム展示場でミツバチや虫媒をクローズアップしていたが、今年は環境問題をとらえるとともに自然と人間の暮らしに照準した「QUIET」というコンセプトのブースが長蛇の列でした。このブースは日本の国際企業のレクサスとパナソニックが協賛。小型高性能は日本製品の真骨頂だがこの 2 社が協賛したブースは「静けさ」をテーマにしたものです。現代人は日々生活騒音に悩まされストレスを抱え、隣家や隣室のトラブルは殺人事件までに至る問題。ここで注目したのが静けさや省音というものづくりです。ダイソンの新扇風機は奇抜なデザイン優先でなくファンが空気を切る音の無音化の設計。など、パナソニックの洗濯機や食器洗い機。そして車はレクサスが同じく。これらには「QUIET」というシールが認証マークとなっています。4k や省エネも興味深いものですが人間の心や神経の分野に商品づくりのコンセプトが有効不可欠という時代を感じさせる提案でした。NY のハイラインを代表とするワイルドガーデンが次世代の庭園コンセプトとして、国内でも大阪の安藤忠雄さんの地元の自生・危惧種での壁面緑化や福岡の市役所の里山再生発想の樹林化や落葉の生ごみ焼却でない堆肥化での土の育成などはまさに高層ビルの乱立によって「奪ってしまった天空を小鳥と昆虫に返してあげる。」の具現化であり、人間と自然の共生意識の世界潮流そのものです。会場の販売の人気の植物群もまさに山野草的な草木花でした。

Hampton Court Palace Flower Show は以下の HP から → www.rhs.org.uk/shows-events/rhs-hampton-court-palace-flower-show/awards 次世代の商品 → <http://www.quietmark.com/> で是非。

時代はこういう研ぎ澄まされた点から大変化を起こすでしょう。この視座が全世界を変革させるかは未知数ですが「理解できて納得できるコンセプト」であることは間違いないといえます。時代視座はもう 69 億 46 百万人を超してアフリカの人口爆発で 75 億人とも言われている世界市場へ向けていて日本もその部分です。Big Bang has begun in everywhere in the world..世界のあらゆるところで Big Bang が始まっていて、It is not tomorrow the same as yesterday 昨日と同じ明日はありません。国を出るたびに感じる畏敬です。





花と緑のおもてなしプロジェクト報告

有限会社 緑花技研 藤田昌志

「花と緑のおもてなしプロジェクト」のスタンディングコンテナガーデンが完成しました。

壁面緑化用の杭やコンテナの設置は、事前にセキスイエクステリア(株)さんに行って頂き、6月14日にボランティアで参加して頂いた皆さんと植え付けを行いました。

ご参加頂いた方は、セキスイエクステリア(株)、E&Gアカデミー生、(株)ハイポネックスジャパン、(株)フラワーオークションジャパンの方々と(有)緑花技研です。

現在のおもてなし花壇は、キンギョソウ、ニチニチソウ、サルビアの生育があまりよくありませんでしたが、ハクサンインターナショナルさんによりキンギョソウの補植を行って頂きました。その他の生育不良植物については、コンテナを移動する等の処置を行いました。

「花と緑でおもてなし」五輪プロジェクトの一環として、8月2日、3日に「夏を爽やかに!スポーツ&フラワーフェスタ」へ参加しました。

フラワーフェスタでは、イベントブースを作成し会員より提供頂いた花苗の配布と東北震災支援として、我が会で行っている「被災地小学校支援」の募金活動を行いました。

今回のイベントにご協力頂いた会員は、(株)シモジマ、(有)角田ナーセリー、(株)フラワーオークションジャパン、(株)芳樹園の方々と(有)緑花技研です。

イベントブース以外にも、各企業、団体の作成したおもてなし花壇を巡るツアーや、クイズラリー、スタンプラリーが行われました。

「被災地小学校支援」の募金活動では、30,755円の募金が集まりました。





第一回 北海道フィールドトライアル開催

7月18日～21日の4日間、北海道札幌市にある学校法人八紘学園 花菖蒲園内をメイン会場、国営滝野すずらん丘陵公園をサテライト会場に、「第一回 北海道フィールドトライアル」が開催された。草花は一般的に、関東から関西に向けてよく育つように育種、生産されており、北海道の消費者への園芸情報が少ないことから、北海道で楽しむガーデニングファンに向けて開催されたもの。また、業界関係者も自分たちで確認したいということから、有志が実行委員会を作って開催したもので、4千名を上回る一般来場者でにぎわった。



写真はエム・アンド・ビー・フローラ谷本裕司氏提供



屋内緑化推進協議会スタート

100社以上が参加して設立総会

園芸業界の有志が集い設立した「屋内緑化推進協議会」の設立総会が、7月16日、東京ビッグサイトの「第5回エコオフィス/エコ工場EXPO」会場内で開催された。総会にはグリーン関連の企業を中心に、建築・住宅関連企業など106社/約150名が参加し、熱い期待のもとに発足した。

総会と共にエコオフィス展にも出展し、企業関係者を中心にオフィスにおける緑の効用、生産性向上などをアピールし、緑の啓蒙普及を展開した。



来場者の緑への関心も高く、対応に追われていた



北海道から沖縄まで全国から熱い思いの人たちでいっぱいになった設立総会



小スペースのガーデニングを提案——タカショー

㈱タカショーは、7月31日～8月1日に東京流通センターで自社製品を披露する商談会「第11回タカショーエクステリア&ガーデンフェア」を開催したが、小スペースでのガーデニングを応援するアーバンガーデンの売り場、壁面プランターや小型のレイズドベッドを使ってスペースをうまく活用する提案を行い、注目を集めた。





カエデ
kaede



激動期の業界に関われる喜び

株式会社グリーン情報 古田 涼

ガーデンビジネス専門紙「Garden Center」の編集という立場で園芸業界に関わらせていただいています。

入社当時は、雑誌づくりだけでなく、業界の知識を全く持ち合わせていなかったのが、取材対応の方に迷惑をかけていたと思います。しかしながら、今年で社会人4年目となり、仕事も覚えはじめ「人」としての自信がついてきたように感じるものの、至らない点も多く、たくさんの方々助けられながらがんばっています。まだまだ不十分ではありますが、少しずつ少しずつやり方や仕組みが分かり始め、ようやく皆さんの役に立つ情報発信できるようになってきたのかなあと感じているところです。とはいうものの、未だ手探り状態であることは変わらないので、これからも多少の知ったかぶりを交えつつ、絶妙なタイミングでの相づちを心がけながら、時には一歩踏み込んだ質問をして、より良い記事が書けるように努力してまいります。



ところで最近、取材やインタビューなど、さまざまな場面で「異業種・他業種」というワードを耳にします。商品企画・提案、組織づくり、イベントなどなど…、それぞれアプローチの仕方は異なりますが、「園芸業界に納まらず、もっと視野を広げて戦略を練り、より多くの人を巻き込んでムーブメントを起こす」との思いは共通しているようです。「花と緑を嫌いな人はいない」という声も良く聞きます。より多くの人に園芸の素晴らしさを伝えることが、業界発展の一番の近道なのは間違いないはずです。

花き振興法が成立し、また2020年の東京オリンピック開催に向けてさまざまな取り組みが活発になっている今、園芸業界を新たなステージに引き上げようと、関係者が一丸となって活動する姿を目の当たりにして、身も心も引き締まる思いです。過去に類を見ないほどの激動期を迎えた業界に関わらせていただいている喜びを感じながら、さらなる活性化のお手伝いできれば幸いです。



会員紹介

(株)ユニソン

私たちユニソンは、化粧ブロック、レンガ、天然石などのエクステリア資材に加えて、ポスト、サイン、立水栓などのガーデン商品を幅広く取り揃えたガーデンエクステリアの総合メーカーとしてガーデンに関するさまざまなお客様のニーズにお応えしています。

東日本大震災以降、私たちを取り巻く環境が大きく変化する中でユニソンは、『自然と寄り添う賢い暮らし』をテーマに自然の恵みを活かしたガーデンライフスタイルを提案しております。

ガーデンライフやガーデンエクステリア商品に関するご相談の際には、名古屋と大阪にショールームがありますので、ぜひお気軽にお立ち寄り下さい。



〒541-0046 大阪市中央区平野町3丁目6番1号
あいおいニッセイ同和損保・御堂筋ビル1階
TEL 06-6228-3030 FAX 06-6228-7228



〒450-0002 名古屋市中村区名駅5丁目5番22号
名駅DHビル1階
TEL 052-533-5248 FAX 052-533-5695

(株)ユニソン

HP : <http://www.unison-net.com/>